



ひと、暮らし、みらいのために

宮城労働局

Miyagi Labour Bureau

<http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

Press Release

宮城労働局発表
令和3年6月28日

【照会先】

宮城労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長 菅原 武
主任地方産業安全専門官 武田 栄治
(電話) 022-299-8839
(夜間) 022-207-3793

報道関係者 各位

宮城労働局長による「安全週間公開安全衛生パトロール」を実施します

宮城労働局（局長 毛利 正）では、全国安全週間（7月1日から7日まで本週間、6月1日から6月30日まで準備期間）の取組の一環として、7月6日（火）、労働局長による公開安全衛生パトロールを実施します。

昨年同時期に比べて死亡災害が増加している建設工事現場を対象に選定し、宮城県内の安全意識の高揚と安全活動の促進を目的として実施するものです。

本パトロールの日時、対象等は、次のとおりです。

1 日時 令和3年7月6日（火） 午前9時45分～午前12時00分（予定）

2 対象

(1) 工事名 東北学院大学五橋キャンパス新築工事

（発注者：学校法人 東北学院）

(2) 施工者 竹中・銭高・橋本・仙建特定建設工事共同企業体

（作業所長：真田啓行 電話：022-216-1310）

(3) 所在地 仙台市若林区清水小路3番1他

3 集合時刻及び場所

(1) 集合時刻 午前9時30分

(2) 集合場所 上記新築工事現場内、仮設工事事務所1階会議室

※別紙「現場案内図」をご参照ください。

4 その他 詳細は、別添資料1のとおり

【添付資料一覧】

別添資料1：令和3年度 安全週間公開安全衛生パトロール実施要領

別添資料2：全国安全週間リーフレット

別添資料3：宮城における労働災害発生状況

※ 取材に当たっての留意事項（お願い）

- (1) お車でお越しの方は現場内に駐車場がございませんので、近傍の有料駐車場等をご利用ください。
- (2) 当日は、午前9時30分までに現場内、仮設事務所1階会議室にお集まりください。現場西側のくぐり戸から入場いただき、案内表示に従って会場にお越しくください。
- (3) 新型コロナウイルス感染防止対策として、検温と受付による記帳をお願いします。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体調不良の方には現場内への入場をご遠慮願います。また、現場内はマスクの着用をお願いします。
- (5) 保護帽（ヘルメット）の持参をお願いします。
- (6) 取材に際しては、安全確保等のため、通路等からの逸脱、立入禁止箇所への侵入は行わず、また、現場工事関係者及び宮城労働局職員の指示に従っていただきますようお願いいたします。



現場案内図

工事名 : 東北学院大学五橋キャンパス新築工事
施工者 : 竹中・銭高・橋本・仙建特定建設工事共同企業体
所在地 : 仙台市若林区清水小路3番1他
(電話022-216-1310)



令和 3 年度 安全週間公開安全衛生パトロール実施要領

宮城労働局労働基準部健康安全課

1 趣旨

全国安全週間（7月の第1週目、6月は準備期間）における実施事項として安全衛生意識の向上及び安全衛生管理活動の活性化、ひいては安全衛生管理水準を向上させ労働災害防止を推進することを目的に、労働局長による公開安全衛生パトロールを実施するもの。

なお、本パトロールは、建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議(注1)として実施するものである。

(注1) 「建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議」について

建設業における労働災害防止対策等に係る喫緊の課題を解消するために関係者が協議することを目的として、平成30年度から「建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議」（事務局：宮城労働局）を設けており、その構成員は、宮城労働局、東北地方整備局、東北農政局、宮城県、建設業関係団体であり、構成員が協力して行う取組として、合同パトロールを実施することとしている。

2 主催者

建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議

3 日 時

令和3年7月6日（火） 午前9時45分から午前12時00分まで

4 パトロール対象工事現場

工 事 名 : 東北学院大学五橋キャンパス新築工事

所 在 地 : 仙台市若林区清水小路3番1他

施 工 者 : 竹中・銭高・橋本・仙建特定建設工事共同企業体

作業所長 : 真田啓行（電話 022-216-1310）

5 パトロール実施者

建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議構成員

※ 今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、最小限の出席者数とする。

(内訳) 労働災害防止団体 : 建設業労働災害防止協会 宮城県支部
一般社団法人 宮城県建設業協会
宮城県建設業産業団体連合会

労働災害防止行政 : 宮城労働局、仙台労働基準監督署

6 パトロール実施予定表

時刻	所要時間	内容	担当者	備考
(9:30～)		現場集合		仮設工事事務所 1F会議室
9:45～9:55	10分	挨拶	労働局・施工業者	
9:55～10:00	5分	出席者紹介	司会	
10:00～10:20	20分	工事概要・作業状況等の説明	施工業者	
10:20～10:25	5分	パトロール注意事項説明	司会	
10:25～11:15	50分	パトロール (移動時間を含む)		工事現場に移動
11:15～11:30	15分	総評	連絡会議構成員	仮設工事事務所 1F会議室
11:30～11:35	5分	施工業者挨拶	施工業者	仮設工事事務所 1F会議室
(～12:00)		現場退場		

第94回

全国安全週間

SLOGAN

持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場

安全管理せな
あかんよ
!!

令和3年

7/1 ▶ 7

令和3年 準備期間

6/1 ▶ 30

宮川大輔

第94回全国安全週間について

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、これまで一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えることとなりました。

この間、事業場においては、労使が協調し、労働災害防止に向けた弛まぬ取り組みを展開してこられました。この努力により労働災害は長期的には減少しており、令和2年の労働災害による死亡者数は3年連続で過去最少となりました。

一方、令和2年の休業4日以上労働災害による死傷者数は、高齢者の労働災害、転倒災害、「動作の反動・無理な動作」による労働災害が増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害により、平成14年以降で最多となりました。

こうした状況を踏まえ、皆様の職場におきましても、「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」のスローガンのもと、労働災害防止に向けたより一層の取り組みをお願いします。

また、安全活動の実施にあたっては、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件が同時に重なる場を避け、職場内外での感染防止行動を徹底しつつ、取り組んでいただくようお願い申し上げます。

主唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

毎日の笑顔は
やっぱり安全管理からやね！
みんな元気な職場が一番！



職場の安全、全国安全週間に
関する情報はこちらでも発信しています！

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

中央労働災害防止協会

<https://www.jisha.or.jp/>

職場のあんぜんサイト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

あんぜんプロジェクト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/index.html>

職場の安全、全国安全週間に
関する情報はこちらで検索！

厚生労働省 安全衛生

検索

中央労働災害防止協会 安全週間

検索

職場のあんぜんサイト

検索

詳しくは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

宮城労働局の労働災害発生状況(1月～5月)

令和3年5月末現在

休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	令和3年		令和2同期		令和3年と令和2年の比較	
	発生数	死亡者数	発生数	死亡者数	増減数	増減%
全産業	1,079人	(5人)	711人	(6人)	368人 (-1人)	51.8%
製造業	173人	(0人)	157人	(3人)	16人 (-3人)	10.2%
建設業	122人	(3人)	100人	(0人)	22人 (3人)	22.0%
陸上貨物運送事業	164人	(1人)	98人	(1人)	66人 (0人)	67.3%
林業	15人	(0人)	13人	(2人)	2人 (-2人)	15.4%
第三次産業	562人	(1人)	316人	(0人)	246人 (1人)	77.8%
商業	181人	(1人)	115人	(0人)	66人 (1人)	57.4%
小売業	120人	(1人)	83人	(0人)	37人 (1人)	44.6%
社会福祉施設	138人	(0人)	53人	(0人)	85人 (0人)	160.4%
上記以外の業種の合計	43人	(0人)	27人	(0人)	16人 (0人)	59.3%

○休業4日以上
の死傷者数 (うち死亡者数)

発生年	令和2年(1～12月)	令和元年(1～12月)	増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,407人 (15人)※確定値	2,432人 (17人)	-25 (-2人)	-1.0%

令和3年 宮城県内における死亡災害発生の概要

令和3年6月8日現在速報

番号	業種	労働者数	事故の型	災害の内容
	発生月	時間帯	起因物	
1	燃料小売業 (8.2.4)	1～10人	はさまれ・ 巻き込まれ	工事現場において、ドラグショベルの給油作業を行うため、タンクローリー車をドラグショベルの正面に停車し、タンクローリー車とドラグショベルの間に進入したところ、停車させたタンクローリー車が動き出し、ドラグショベルとの間にはさまれた。
	1月	13時台	動力運搬機械	
2	港湾海岸工事業 (3.1.11)	1～10人	墜落・転落	工事現場において、岸壁に台船を接岸しようとしたところ、岸壁の防舷材（緩衝材）と台船の防舷材がはさまり動けなくなったため、岸壁側から台船を押した時に足を滑らせ海へ転落し、動いた台船の防舷材と岸壁の防舷材の間にはさまれた。
	3月	8時台	その他の乗物	
3	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋 建築工事業 (3.2.1)	1～10人	墜落・転落	型枠組立て作業中、角材を2列に並べた作業通路から約1.2m下の地面に墜落した際に、パイプサポートに胸を強打した。
	5月	15時台	通路	
4	道路貨物運送業 (4.3.2)	20～30人	倒壊・崩壊	コンテナトレーラからフォークリフトで荷下ろし作業を行っていたところ、荷が崩れ、荷とコンテナの壁の間に挟まれたもの。
	5月	7時台	荷姿の物	
5	土木工事業 (3.1.99)	10～20人	激突され	工事現場で掘削中に出てきた埋設管を取り除くため、同僚が操作するドラグショベルに近づいたときに、ドラグショベルが旋回し、バケット部分に激突されるとともに、近くに停車していたダンプカーとの間に挟まれた。
	5月	16時台	掘削用機械	

黄色の欄は建設業

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。